

蒲郡市消防本部



試行的に実施したが、結果はどうかであったか。

答

昨年10月から両事業を市内1地区で試行的に行った。プラ容器分別収集は予想以上の成果があり、可燃ごみの回収が半減している。早朝回収も問題は少なく良好に推移している。

**消防広域化に
どう対処するか**

問

県が計画する広域化再編成案では、県下で11消防に、東三河では全体を1つの消防本部とするようだが、市の考え方を伺う。

県が計画する広域化再編成案では、県下で11消防に、東三河では全体を1つの消防本部とするようだが、市の考え方を伺う。

消防の対応力の強化が図られ、住民サービスの向上に繋がる広域化を基本に、地域の将来を考え、検討・協議を重ねていく。

**特色ある学校づくり
について**

問

各校に300万円の予算化がされるが、現在提案されている計画や期待されている成果は何か。

答

それぞれ各校が目的やねらいを持って特色あるプランを作成しており、保護者や地域にも十分受け入れられるものと判断している。

**競艇場の施設改善と
岡崎市交付金問題は**

問

売上げ好調なこの時期に施設改善に着手すべきでないか。また、岡崎市への交付金の協議の状況と今後の対応について伺う。

答

老朽化が目立つ施設を収益のあるうちに改善したい。今年から基本設計に着手し、24年度までに中央集計棟の改修工事を行い

蒲郡競艇場



たい。その後のスケジューリングは未定だが、入場者数に見合ったコンパクトな施設を考えている。

岡崎市への交付金は、何度も協議を行っているが、現在のところ合意に至っていない。今後も毅然とした態度で協議継続をしていく。

**市民病院の
医師確保対策**

問

深刻な地方の医師不足に対する市の取り組みと大学との交渉状況を伺う。

答

国・県が緊急予算措置を講じたが、即効性が

出していない。医師の派遣を大学に依存する状況が続いており、市長・議長・商工会議所会頭で要請活動を行っているが、大変困難な状態であると思っている。

公民館建設の予定は

問

形原公民館の新設予定と老朽化が進む他の公民館の改修計画はどうか。

答

今年度は地質調査等と実設計を行い、21年度に建設工事の予定をしており、その後は蒲郡公民館を考えている。

**会派がまごおり
代表 莊田博己**

**設楽ダム事業に対する
市の考え方は**

問

2002年完成の豊川総合用水事業で水は充分足りている。しかし、2070億円もの巨費を投じてダムを建設すれば、下流域の負担も大きい。これをどう考えるか。

答

ダム建設は、東三河地域の長年の課題であり悲願である。ダムの早期建設のために東三河の一員として応分の努力、負担は当然であると考えている。

具体的な負担額はまだ確定していないが、県から提示されたものをベースに下流市町で議論し、決まってくることになる。

問

三河湾の水質、干潟のアサリなどの生態系に影響を与えないか。

答

設楽ダムから三河湾に流れ込む流量は少なく、その影響は小さいと考えられている。また、堆積の砂も水質悪化につながる可能性は極めて小さいと聞いている。

問

蒲郡市は漁業、観光で成り立っている部分が大い。国に下流域での環境調査の実施を求めるべきではないか。

答

下流部は、ダムの影響調査把握には適していないと聞いている。

市民病院の経営は